

5/25 加西の歴史と文化を歩いて満喫



▲北条小学校の歴史ガイド隊の案内で、五百羅漢を拝観する参加者。

NHK総合テレビ「新 兵庫史を歩く」の収録が行われました。加西市歴史街道ボランティアガイドとともに市内外の参加者150人は、五百羅漢や玉丘史跡公園など名所・史跡11カ所を約6時間かけて巡り、各所で園田学園女子大学の田辺真人名誉教授からその歴史を学びました。

また、酒見寺では、連合婦人会が風土記にちなんだタケノコのちらし寿司と鴨汁を提供。市外の参加者からは「また加西市を訪れたい」との声が聞かれました。

5/31 世界の政府職員が加西の環境施策を視察



▲美樹工業㈱が建設した県内最大級の加西第1・第2メガソーラー発電所(3.5MW)を見学するJICA研修生。

JICA(国際協力機構)の省エネルギー研修が、加西市で行われました。南米ガイアナや欧州ウクライナ、アフリカのカメルーンなど17カ国の政府職員17人が、自国の省エネ・低炭素社会づくり政策に役立てようと視察。

加西市では、豊倉町に建設した加西第1・第2メガソーラー発電所、市庁舎の電力モニタリングシステムを利用した省エネ施策の取り組み、北条中学校の太陽光パネル発電やLED照明などを見学しました。

6/7 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」



▲播磨農業高校で出荷する加西産トマトを磨く泉中学校の生徒。

市内の中学校と特別支援学校中学部の2年生が職場体験をする「トライやる・ウィーク」が行われました。

会社や警察、保育所など、延べ136事業所で451人が、慣れない仕事にも生き生きと取り組み、貴重な体験をしました。

生徒は、「地域の方々の温かさや仕事の難しさ、協力することの大切さを学びました」などと、ひと回りおおきく成長したようです。

6/9 心臓マッサージで命を救う



▲「自分たちのしたことが救命に役立ちよかった」と振り返る三谷さん(右)と寄藤さん(中央)。

加西消防署(藤原光浩署長)は、市内在住の三谷大介さんと市内勤務の寄藤光昭さんに感謝状を贈りました。

三谷さんと寄藤さんは、4月21日にアラジンスタジアムで行われた軟式野球の試合中に、バッターボックスで突然倒れた男性に対し、守備についていた二人は協力して救急車が到着するまで心臓マッサージを続けました。男性は救急隊の処置によって、自発呼吸ができるようになり、一命をとりとめました。

6/2 復興支援で“こころの絆”を



▲「かえるの体操」を合唱して、復興を応援する善防保育所の園児。

健康福祉会館で、「支えあう“こころの絆”を深めよう」をテーマに「復興支援まつり」が開催され、1000人が参加しました。まつりでは、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市の9人を招き、復興支援に協力するボランティア団体でご当地グルメ「気仙沼ホルモン」の販売や市内の保育園等の園児が復興応援合唱などをしました。

参加者は、まつりを通じて、助け合い、支えあうこころの絆の大切さをあらためて確認しました。

6/2~ 加西産食材を使った「ねっぴ〜ろ〜る」



▲8月4日の加西サイサイまつりでも販売予定。現在は「アンプリエ Mishima」で販売(限定8本)されています。

加西商工会議所青年部は、ふるさと加西観光大使「ねっぴ〜」初の関連商品としてロールケーキ「ねっぴ〜ろ〜る」を開発しました。

「ねっぴ〜ろ〜る」は、加西産4種の食材(夏:トマト、秋:ブドウ、冬:サツマイモ、春:イチゴ)を季節ごとに変えて使います(トマト以外は予定)。「素材そのものの味を存分に味わうことができ、凍らせて半解凍で食べてもおいしい」と、同会員の自信作です。

6/22 五百羅漢内に車いす用通路が完成



▲五百羅漢保存委員の皆さんが、ボランティアで工事を行いました。

400体以上の石仏が立ち並ぶ謎に包まれた五百羅漢石仏群を、車いす・杖をご利用の方や高齢者の方などにも気軽に拝観いただけるように、羅漢寺境内入口から五百羅漢石仏までの約90mの道を整備・舗装(バリアフリー化)しました。

工事を実施した五百羅漢保存委員会の垣内守男会長は、「通路も整備されたので、もっと多くの人に拝観してほしい」と話されました。

7/1~ 市内コンビニ全店で情報発信!



▲店舗により設置場所が異なります。詳しくは各店舗でご確認ください。

幅広い世代への読者の広がりや市外の方へのPRのため、「広報かさい」を新たに市内12カ所のコンビニエンスストア全店に設置、希望者に無料配布しています。

また、子育て・定住支援情報サイト「かさい住タイル」BLOG、facebook、twitter、LINEでリアルタイム情報を配信中です。コンビニ設置のねっぴ〜カードのQRコードを読み取り、ご活用ください。